

秩父地域における地域振興活動の研究

Research of the regional promotion activities in the Chichibu region

プロジェクト代表者：山下 勇一（経済学部・教授）

Project representative: Prof. Yuichi Yamashita

1 プロジェクトの目的

1. 平成6年の「140号線の開通の影響度調査」と比較するデータを入手するための調査を行う。
2. 140号線開通後に新しく企画された観光事業（芝桜公園）や新設された観光施設について、住民の声を聞く。
3. 今後の秩父地域の変化を予測し、地域振興に必要なマーケティングを考察する。

2 プロジェクトの活動経過

1. 2006年10月 秩父地域地場産業振興センターと「Find秩父」の協力をいただき、国道140号線開通後の影響と、地域振興についてのアンケート調査の打合せを行った。
2. 2006年11月 秩父地域地場産業振興センター（Find秩父の事務局でもある）の協力でアンケートをFind秩父の会員（約100名）にFAX送信・回収を依頼し、12月中旬までに回収することとした。
3. 2007年3月 秩父地域の大型店の出展状況等を現地調査。アンケート集計結果を地場産業振興センター担当者に報告。

3 アンケートと結果

1. 回収数 14通（依頼数100社）
2. 140号線の開通の影響
 1. 開通により、皆さんの事業の売上は？ 1. 増加(3) 2. 変わらず(10)
 2. 秩父地域全体の観光客数は？ 1. 増加(7) 2. 変わらず(4) 3. 減少(1)
 3. 140号線を利用した入込み観光客数は？ 1. 増加(6) 2. 変わらず(5) 3. 減少(1)
 4. 市内の交通渋滞に関して、ご感想は？ 1. 増加(9) 2. 変わらず(2) 3. 減少(1)
 5. 秩父地域の活性化全般への影響について 1. 良い影響(5) 2. 影響なし(6) 3. 悪い影響(1)
 6. 若者に対する影響について 1. 良い影響(3) 2. 影響なし(10)
3. 秩父地域を活性化するために有効と思われる地域活動（複数回答）
 - 1位. 工場誘致（5）
 - 2位. 自然を保護し、自然の良さを活かした活動を行う（3）
 - 3位. 地域の祭りや名所旧跡巡りをさらに盛り上げる活動（3）
4. 地域活性化のための活動を実行する際に、障害（ネック）になること（複数回答）
 - 1位. 活動資金
 - 2位. 交通混雑
 - 3位. 地域全体の協力体制

4位. 金儲け第一の商魂

5. 「FINDChichibu (広域秩父産業連携フォーラム)」に期待する活動 (複数回答)

1位. 地域企業間におけるコミュニケーションの場の創設・改善

2位. 地域企業と連携した研究の推進

3位. 大学等との共同研究の推進

6. 自由回答から :

- ・ 秩父祭りは混雑しすぎ。
- ・ トイレや交通標識の整備。交通機関の整備。
- ・ 地域振興に工夫を。
- ・ 宿泊設備等の整備。
- ・ 土産物の工夫。

4 今後の展望 :

1. 秩父ミューズパークのスポーツの森 (テニスコート、流水プール、ミニゴルフ場、コテージ、カートコースなどの付帯設備付) の利活用の研究
2. 国道140号のバイパス工事の進捗に伴う、地域振興策の研究
3. 秩父セメント第一プラント跡地の再利用と該当地域の再開発の研究
4. 芝桜祭りの入園料の有料化と収益金の再投資の研究
5. 郊外型大型店とその周辺の新商店街の形成、および旧商店街との勢力分布の研究
6. カーナビゲーション・システム (携帯電話のナビゲーション・システムを含む) と地域振興の研究